



由良町公民館だより
2021 秋号
令和3年10月1日

- 中央公民館 (日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- 衣奈会館 (日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- 白崎会館 (日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)

夏休み子ども講座



秋風、虫の音の響きが心地良く過ごしやすい季節となりました。

夏の公民館事業のひとつである夏休み子ども講座は、去年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は感染症予防対策をしっかりととりながら、5講座を実施することができました。

子ども達が頑張った講座を紹介します。

<クッキング (パン作り)>

2色の生地を使ったヒマワリのメロンパンや、クマやコアラなど好きな動物の形をしたパンを作りました。目や鼻などの細かいところは、チョコレートで描く子もおり、個性溢れるパンができあがりました。

<ダンス (全2回)>

公民館の子ども講座として、初めてのダンス教室。子ども達は、音楽に合わせて楽しくリズムにのって踊ることができました。

体を動かすことの楽しさを、味わうことができたと思います。

<水でっぼう作り>

太さの違う2本の竹とスポンジや布を使い、水でっぼうを作りました。低学年の子どもは少し力のいるところもあり、保護者の方と一緒に作りました。その後、炎天下の中、ずぶ濡れになりながら、どこまで飛ぶかを競い合っていました。

<絵を描こう>

色の三原色(赤・青・黄)を使って配合による色の世界を体験しました。その後、画用紙いっぱい植物や昆虫など、好きな絵を楽しみながら描いていました。一人一人の個性がよく出た作品が出来ました。

<由良町探検>

太平洋戦争の末期、由良湾内で撃沈された海防艦第30号の様子をDVDで鑑賞。予定していた海防艦戦死者供養塔前での慰霊は、豪雨のため中止しました。

ゆらふるさと伝承館では、展示している資料などに興味を持って熱心に見ていました。戸津井鍾乳洞では、洞内の天井から大粒のしずくが滴り落ちる中、踏破しました。参加者の子ども達から、本当の探検のようで楽しかったと言う声が聴かれました。



中央公民館

- ワラグル (浜口 倫太郎)
- 余命一年、男をかう (吉川 トリコ)
- 白光 (朝井 まかて)
- アガワ流生きるピント (阿川 佐和子)
- もういちど (畠中 恵)
- 読んでほしい (おぎす シングレ)
- 噂を売る男 藤岡屋由蔵(梶 よう子)
- 40代をあきらめて生きるな (永松 茂久)
- 能面検事の奮迅 (中山 七里)
- 二人の嘘 (一零 ライオン)
- ニッポンのおじさん (鈴木 涼美)
- 霧をはらう (粟井 脩介)
- わが米本土爆撃 (藤田 信雄)
- こころが整う台所 (高木 ゑみ)
- なぜ世界を知るべきなのか (池上 彰)

児童書

- 「街どろぼう」
- 「一歩ふみだす勇氣」
- 「あんなに あんなに」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- 整える習慣 (小林 弘幸)
- へんこつ (谷 治宇)
- パリの小さなアパルトマンで (との まりこ)
- 楽しむおうち時間 (とのもりこ)
- 明日がちょっと楽しい服 (珍田)
- 雨の日は、一回休み (坂井 希久子)
- わたしの心が傷つかないようにひとりであらう (とのもりこ)
- りていたいけれどひとりであらう (とのもりこ)
- 自分のために (ソルレダ)
- 屋根裏のチェリー (吉田 篤弘)
- 三流のすすめ (安田 登)
- 総理の夫 (原田 マハ)
- 変な家 (雨穴)
- 若冲、源内、応挙の嘶 (斎藤 風吟)
- 九八歳。戦いやまず日は暮れず (佐藤 愛子)
- さみだれ (矢野 隆)
- お菓子をつくる季節を楽しむ (本間 節子)
- 82 レシピ

児童書

- 「てがでかこちゃん」

白崎会館

- 照降町四季(三) 梅花下駄 (佐伯 泰英)
- 照降町四季(四) 一夜の夢 (佐伯 泰英)
- 東京のぼる坂くだる坂 (ほしお さなえ)
- スカイツリーの花嫁花婿 (青柳 碧人)
- 寒慄 (アリー・レナルズ)
- テスカトリポカ (佐藤 究)
- 星落ちて、なお (澤田 瞳子)
- 貝に続く場所にて (石沢 麻依)
- 彼岸花が咲く島 (李 琴峰)

児童書

- 「呪術廻戦 16巻」
- 「自爆少年花子くん 1巻〜4巻」
- 「どろんこおばけになりたいな」
- 「ふかふか」
- 「ワンピース 99巻」

【10月～12月の行事予定】

【中央公民館】

*文化展

10月30日(土)から
11月7日(日)まで

*山野草展示会

11月27日(土)
28日(日)

ブックリサイクル

一般書、児童書等をリサイクルします。

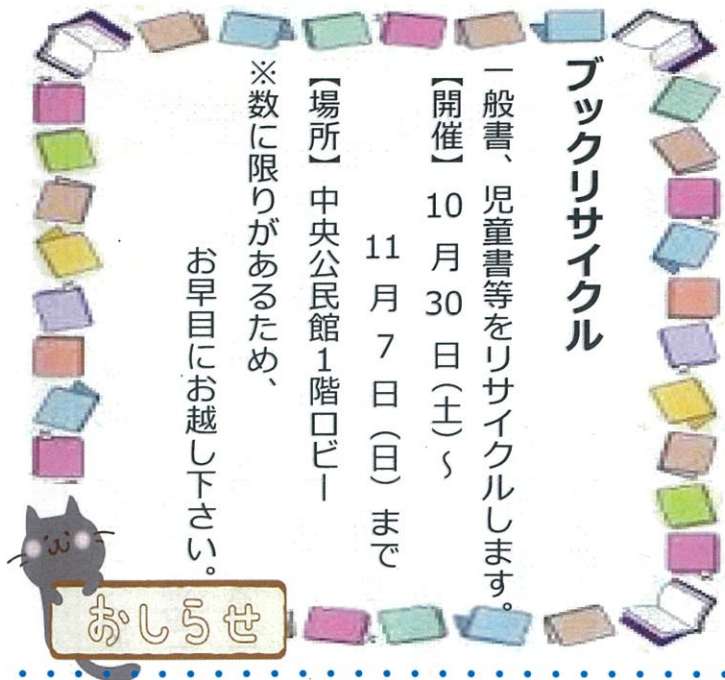
【開催】10月30日(土)～

11月7日(日)まで

【場所】中央公民館1階ロビー

※数に限りがあるため、

お早目にお越し下さい。



【夏休み子ども講座】



【クッキング (パン作り)】



【ダンス】



【絵を描こう】



【水でっぽう作り】



【由良町探検】

【短歌】

未だ朝日届かぬ前山をぐらきに群れ鳴く蝉の声聞こえくる
父の日の回転寿司屋は賑はひて家族連れへとアイス運ばる
くちなしの甘き香りのただよひて湿りし風もなぜか清しげ
孫の好む餃子づくりに精を出すぢいどばあば元氣はつらつ
三色のカサランカの香りたつわが家の庭は天国ともふ
庭先に次々と咲く洋花の名も知らずして眺めてあたり
コロナ禍に逢へぬ長病む弟の安否気づかふ日々にして
コロナ禍に逢へぬ長病む弟の安否気づかふ日々にして
始めての詩づくりに挑まむと風通る窓辺にスマホを開く
一人居の不安をもちてワクチンの接種待ちをり風吹く朝

二本松 せつ子
山下 清美
白樺 美智子
坂田 ひろ美
大西 克恵
中家 かよ子
濱田 順子
寺井 由美
塩路 弘子

【俳句】

夏草や近況話す墓参り
夏爐焚く八方杉の峠茶屋
古代運咲いて孤独といふ姿
大空は掌中でありはたした神
若者が降りし駅舎に夏来たる
グランドはボールの世界雲の峰
金魚鉢赤は大きく見える色
鯛飯をうすくれないに味はひぬ
夏芝に小雨がふりて急ぐ父
芭蕉句碑を寺の要に夏鶯
呆気なく己で割れて大西瓜
刺し身盛る摘みし大葉の香り添へ
夕映えを茂みへ零す大櫛
堤防の突端夏の潮満ち来
吾子も来て泳げや遊べ紀伊の磯
棒パンをかかへて孫の帰省かな
釣師老い船もまばらや緑波揺る

伊藤 秀一
上本 郁子
片山 綾子
北岡 ゆみ
小谷 かおり
小山 ひとみ
坂田 妹子
関本 展大
高橋 義巳
竹中 桃代
田淵 佳根
寺井 由美
西川 初枝
広瀬 峰雄
藤田 薫
山下 治子
吉村 美恵子

【川柳】

母の胸で眠る幼子宝物
いつまでも母の存在大きくて
辛抱が母の残した道しるべ
母の愛はあの子この子と差別なく
母と言った一人の宝物
塩結びその武骨さがどこか似て
米寿まで生きた母には苦労ある
世話になり母の心にありがとう
母の日に歩け歩けと赤い靴
母の顔浮かべてちらすなやみごと
母の愛命を捨てて子を譲る
八十路花母の写真抱いてねる

井口 キヨミ
門田 明美
貴志 治郎
高橋 義巳
谷中 克己
田代 豊子
中崎 枝美子
中崎 文香
中口 小夜美
西川 美代子
平石 敏弘
五嶋 恭子

紀の国わかやま文化祭2021の開催

和歌山県生誕150年を迎えた今年、第36回国民文化祭及び第21回全国障害者芸術文化祭が「紀の国わかやま文化祭2021」の愛称で開催されます。

期間は、十月三十日から十一月二十一日までの二十三日間で、音楽・舞踊・演劇・美術・伝統芸能などが県内のいたるところで開催され、普段見ることのできない催しが多数行われます。

昨年からのコロナウイルス感染症で何かと自粛している今こそ「ふるさと和歌山」を見つめなおす機会として、また、この文化祭を契機として新たなことに挑戦していければと思います。

由良町においても、この期間中、中央公民館で二年振りに文化展を開催します。同時に障害者作品展も開催しますので、是非ともご覧ください。

なお、由良町中央公民館ではこの文化祭の市町村毎の催しやジャンル別の催しがわかる冊子及びパンフレットを備えていますのでご利用ください。

